

各 位

会 社 名 株式会社コックス  
代表者名 代表取締役社長 小柳津 進  
(コード番号：9876 JASDAQ)  
問合せ先 取締役管理統括部長 辻村 茂男  
電話番号 03-5600-3190

会 社 名 株式会社ブルーグラス  
代表者名 代表取締役社長 木村 保  
(コード番号：7478 JASDAQ)  
問合せ先 常務取締役経営管理部長 折井 誠  
電話番号 043-212-6407

## 株式会社コックスおよび株式会社ブルーグラスの合併契約締結に関するお知らせ

株式会社コックス（以下、「コックス」といいます。）および株式会社ブルーグラス（以下、「ブルーグラス」といいます。）は、本日開催の取締役会において、コックスを存続会社とする合併（以下、「本合併」といいます。）を行うことを決議し、合併契約を締結しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

本合併は、コックスの2010年5月18日開催予定の定時株主総会、ブルーグラスの2010年5月12日開催予定の定時株主総会においてそれぞれ承認を受けたうえで、2010年8月21日を合併の効力発生日として行う予定です。

また、本合併の効力発生日（2010年8月21日予定）に先立ち、ブルーグラスの普通株式は株式会社大阪証券取引所JASDAQ市場（以下、「ジャスダック」といいます。）において2010年8月18日付で上場廃止（最終売買日は2010年8月17日）となる予定です。

### 1. 本合併の目的

#### (1) 本合併による経営統合の目的

コックスは、ファッション業界の「コックス（COX＝舵取り）」となることを使命として、メンズカジュアルとレディスカジュアルを中心に事業展開してまいりました。現在ではメンズ・レディス・キッズが一体となったトータル提案のできるカジュアルファッションをコア事業領域として展開しております。

ブルーグラスは、「新鮮文化の提案者 INNOVATOR OF LIVE CULTURE」を基本理念として、女性顧客を中心に、ローティーンからヤングまでのお客さまにアパレル衣料品から生活雑貨に至るまで幅広いファッション提案することを目的に事業展開してまいりました。現在では、ヤングブランド事業とライフスタイル事業をコア事業領域として展開しております。

この度の合併の目的は、アパレルを中心とした専門店企業2社が統合することで、次世代の事業プラットフォームの構築を具体的に実施していくとともに、これまで以上の収益性向上に取り組むものです。また、本合併の趣旨と精神は両社対等であり、両社が速やかに融合かつ抜本的体質転換を図るためには、経営統合形態としてコックスを存続会社とする合併が最善の方策であると判断いたしました。

今後は、両社が共に参画するイオングループの「お客さま第一」というDNAの下、統合による商品領域の広がりを活かした新たな「ライフスタイル・ファッション」事業を創造することによって、お客さまのより豊かな暮らしづくりに貢献する企業を目指してまいります。

なお、イオングループでは現在、新たな成長に向けて「選択と集中」の観点より事業構造改革に着手し、経営資源の更なる有効活用を実施いたしております。その取り組みの一つとして、現在、GMS事

業改革を進めておりますが、この新会社では、ファッション専門店としてのSPA事業プラットフォームを構築し、これをグループ内のブランドと共用することによって、新しい専門店事業を展開してまいります。

#### (2) 上場廃止となる見込み及びその事由

本合併の結果、本合併の効力発生日（2010年8月21日予定）に先立ち、ブルーグラスの普通株式はジャスダックにおいて2010年8月18日付で上場廃止（最終売買日は2010年8月17日）となる予定です。上場廃止後はジャスダックにおいてブルーグラスの普通株式を売買することはできません。

#### (3) 上場廃止を目的とする理由及び代替措置の検討状況

本合併は、ブルーグラスの上場廃止を直接の目的とするものではありませんが、コックスを存続会社とする本合併を行うことにより、ブルーグラスの普通株式は、ジャスダックの定める上場廃止基準に従い、所定の手続きを経て2010年8月18日付で上場廃止（最終売買日は2010年8月17日）となる予定です。

なお、存続会社であるコックスの普通株式は、ジャスダックに上場されているため、本合併後においても、1単元以上の株式については引き続きジャスダックにおいて取引が可能であり、株式の流動性を確保できるものと考えております。現在、ブルーグラス株式を596株未満保有し、本合併に伴いコックスの単元未満株式（1,000株未満の株式）を所有することとなる株主の皆様においては、取引市場において売却することはできませんが、本日付で別途開示のとおり、コックスは、投資家の利便性を高め、個人投資家をはじめとする投資家層の幅を広げることを目的に平成22年8月2日を効力発生日として単元株式数を1,000株から100株に変更する予定です。従いまして、ブルーグラスの株主の皆様には割当てられるコックスの1単元以上の株式（単元株式数の変更後の1単元は100株）については、従来通りジャスダックでの取引が可能となります。ブルーグラスの株主の皆様のうち、コックスの単元株式数の変更後においてもコックスの単元未満株式（100株未満の株式）を所有することとなる株主の皆様においては、当該単元未満のコックスの株式をジャスダックにおいて売却することはできませんが、株主の皆様の希望によりコックスの単元未満株式の買取制度をご利用いただくことができます。これらのお取扱いの詳細に関しましては、下記2.（3）（注3）をご参照ください。

また、本合併に伴い、1株に満たない端数が生じた場合の取扱いの詳細については、下記2.（3）（注4）をご参照ください。

なお、ブルーグラスの株主の皆様は、最終売買日である2010年8月17日（予定）までは、ジャスダックにおいて、その所有するブルーグラス株式を従来どおり取引することができるほか、会社法その他関係法令に定める権利を行使することができます。

#### (4) 公正性を担保するための措置

コックスは、本合併における合併比率の公正性・妥当性を担保するため、本合併の実施にあたり、第三者算定機関であるみずほインベスターズ証券株式会社（以下、「みずほインベスターズ証券」といいます。）に合併比率の算定を依頼し、その算定結果を参考としてブルーグラスとの間で交渉・協議を行い、下記2.（3）記載の合意した合併比率により本合併を行うことを、本日の取締役会で決議しました。

一方、ブルーグラスは、本合併における合併比率の公正性・妥当性を担保するため、本合併の実施にあたり、第三者算定機関である日興コーディアル証券株式会社（以下、「日興コーディアル証券」といいます。）に合併比率の算定を依頼し、その算定結果を参考としてコックスとの間で交渉・協議を行い、下記2.（3）記載の合意した合併比率により本合併を行うことを本日の取締役会で決議しました。

なお、コックスおよびブルーグラスは、各第三者算定機関から、合併比率が財務的見地から妥当である旨の意見書（フェアネス・オピニオン）の取得はしていません。

#### (5) 利益相反を回避するための措置

コックスの社外監査役である原田健至氏はブルーグラスの常勤監査役を兼務しているため、コックスおよびブルーグラスの取締役会における審議に参加しておりません。

また、コックスの取締役会は、各当事者から独立した法律事務所である東京丸の内・春木法律事務所から、ブルーグラスの取締役会は森・濱田松本法律事務所からそれぞれ、取締役会の意思決定の方法・過程等を含む本合併に関する諸手続きについて法的助言を受けております。

## 2. 本合併の要旨

### (1) 本合併の日程

合併決議取締役会（両社）	2010年4月6日
合併契約締結日	2010年4月6日
定時株主総会開催日（ブルーグラス）	2010年5月12日（予定）
定時株主総会開催日（コックス）	2010年5月18日（予定）
最終売買日（ブルーグラス）	2010年8月17日（予定）
上場廃止日（ブルーグラス）	2010年8月18日（予定）
合併予定日（効力発生日）	2010年8月21日（予定）

### (2) 本合併の方式

コックスを存続会社とする吸収合併方式で、ブルーグラスは解散します。

### (3) 本合併に係る割当ての内容

	コックス（存続会社）	ブルーグラス（消滅会社）
本合併に係る割当ての内容	1	1.68
本合併により交付する株式数（予定）	普通株式：15,755,760株	

(注1) ブルーグラス株式1株に対して、コックスの株式1.68株を割当て交付いたします。ただし、コックスが保有するブルーグラス株式110,000株およびブルーグラスが保有する自己株式191,571株については、本合併による株式の割当てはいたしません。なお、上記合併比率は、算定の根拠となる諸条件について重大な変更が生じた場合、コックスとブルーグラスとの協議により変更することがあります。

(注2) ブルーグラスが発行している新株予約権の権利行使が行われることによりコックスが交付する新株式数は増加する場合があります。

#### (注3) 単元未満株式の取扱い

本合併により、コックスの単元未満株式（1,000株未満の株式）を所有することとなる株主の皆様は、取引所市場において単元未満株式を売却することができません。コックスの単元未満株式を所有することとなる株主の皆様においては、コックスの株式に関する以下の制度をご利用いただくことができます。

##### 単元未満株式の買取制度（単元未満株式の売却）

会社法第192条第1項の規定に基づき、コックスの単元未満株式を所有する株主の皆様がコックスに対し、ご所有の単元未満株式の買取を請求することができる制度です。

なお、本日別途開示のとおり、コックスは、株式の流動性の向上を目的に平成22年8月2日を効力発生日として単元株式数を1,000株から100株に変更する予定であります。

#### (注4) 1株に満たない端数の処理

本合併により、ブルーグラスの普通株主に交付しなければならないコックスの普通株式の数に1株に満たない端数が生じた場合には、会社法第234条その他の関係法令の規定に従い、当該株主に対し1株に満たない端数部分に応じた金銭の交付を行います。

### 3. 本合併に係る割当ての内容の算定根拠等

#### (1) 算定の基礎および経緯

本合併の合併比率の公正性・妥当性を確保するため、コックスはみずほインベスターズ証券を、ブルーグラスは日興コーディアル証券を、合併比率の算定に関する第三者算定機関としてそれぞれ選定いたしました。

コックスは、本合併契約の締結承認の取締役会に先立ち、以下の算定結果を内容とする報告書をみずほインベスターズ証券より受領しております。

みずほインベスターズ証券は、両社株式それぞれについて市場株価が存在していることから市場株価法による算定を行い、また、市場株価法に加え、多角的に分析することが必要と考え、両社と類似の事業を営む上場企業がそれぞれについて複数存在することから類似会社比較法による算定を行うとともに、両社の将来の事業活動の状況を評価に適切に反映するためにディスカунテッド・キャッシュ・フロー法（以下、「DCF法」といいます。）による算定も行いました。

各評価方法によるブルーグラスの普通株式1株に対するコックスの普通株式の割当て株数の算定結果は、下表のとおりとなります。

評価手法	合併比率の評価レンジ
市場株価法	1.36 ~ 1.70
類似会社比較法	1.37 ~ 1.73
DCF法	1.53 ~ 1.81

なお、市場株価法については、2010年4月1日を算定基準日として、算定基準日の株価、算定基準日から遡る1ヶ月間、3ヶ月間、6ヶ月間の終値単純平均株価及び出来高加重平均株価を採用しております。

みずほインベスターズ証券は、合併比率の算定に際して、両社から提供を受けた情報および一般に公開された情報を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの資料および情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性および完全性の検証を行っておりません。また、両社とその関係会社の資産または負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産および各負債の分析および評価を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておらず、第三者機関への鑑定または査定の依頼も行っておりません。両社の財務予測については両社の経営陣により現時点で得られる最善の予測と判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。

ブルーグラスは、本合併契約の締結承認の取締役会に先立ち、以下の算定結果を内容とする報告書を日興コーディアル証券より受領しております。

日興コーディアル証券は、両社株式それぞれについて市場株価が存在していることから市場株価法による算定を行い、また、市場株価法に加え、多角的に分析することが必要と考え、両社と類似の事業を営む上場企業がそれぞれについて複数存在することから類似上場会社比較法による算定を行うとともに、両社の将来の事業活動の状況を評価に適切に反映するためにDCF法による算定も行いました。

各評価方法によるブルーグラスの普通株式1株に対するコックスの普通株式の割当て株数の算定結果は、以下のとおりとなります。

評価手法	合併比率の評価レンジ
------	------------

市場株価法	1.47～1.49
類似上場会社比較法	1.31～2.24
DCF法	1.70～2.43

なお、市場株価法については、コックスおよびブルーグラスは両社ともに2010年2月12日付けで業績の下方修正を行っていることから、2010年3月31日を評価基準日として、業績の下方修正公表の翌営業日（2010年2月15日）から評価基準日までの終値平均株価、および評価基準日から遡る1ヶ月間の終値平均株価を採用しております。

日興コーディアル証券は、合併比率の算定に際して、両社から提供を受けた情報および一般に公開された情報を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの資料および情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性および完全性の検証を行っておりません。また、両社とその関係会社の資産または負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産および各負債の分析および評価を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておらず、第三者機関への鑑定または査定の依頼も行っておりません。両社の財務予測については両社の経営陣により現時点で得られる最善の予測と判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。

コックスおよびブルーグラスは、それぞれ第三者算定機関による分析結果を参考に慎重に検討し、また、各社の財務状況、業績動向、株価動向等のその他の要因を含め慎重に協議・交渉を進めた結果、2010年4月6日に開催された各社の取締役会において、本合併における合併比率を合意・決議し、同日合併契約を締結いたしました。

なお、合併比率は、算定の根拠となる諸条件について重大な変更が生じた場合、コックスとブルーグラスとの協議により変更する事があります。

## (2) 算定機関との関係

みずほインベスターズ証券および日興コーディアル証券は、コックスおよびブルーグラスの関連当事者には該当せず、本合併に関して記載すべき重要な利害関係を有しておりません。

## (3) 本合併に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

ブルーグラスは、新株予約権を発行しております。本合併の効力発生日（2010年8月21日予定）において、コックスは、ブルーグラスが発行している新株予約権（以下、「本新株予約権」といいます。）を有する新株予約権者に対して、本新株予約権に代わるコックスの新株予約権を新たに割当交付し、本新株予約権は本合併の効力発生日において消滅する予定です。

なお、ブルーグラスは新株予約権付社債を発行しておりません。

また、本新株予約権と新たに割当交付される新株予約権の主な内容は以下のとおりです。

	本新株予約権	新たに割当交付される新株予約権
発行日	平成20年4月21日	平成22年8月21日
新株予約権の目的となる株式の種類	普通株式	普通株式
新株予約権の数（個）	49個	49個
新株予約権の目的となる株式の数（株）	4,900株	8,232株
新株予約権行使時の払込金額（円）	1円	1円

新株予約権行使期間	平成20年5月21日から 平成35年5月20日まで	平成22年8月21日から 平成35年5月20日まで
-----------	------------------------------	------------------------------

#### 4. 本合併の当事会社の概要

	吸収合併存続会社 (2009年11月20日現在)	吸収合併消滅会社 (2009年11月20日現在)																								
(1) 名称	株式会社コックス	株式会社ブルーグラス																								
(2) 所在地	東京都江東区新大橋一丁目8番11号	千葉県美浜区中瀬一丁目6番																								
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小柳津 進	代表取締役社長 木村 保																								
(4) 事業内容	紳士衣料、婦人衣料、子供衣料ならびに関連商品の小売販売	婦人服・雑貨の小売業																								
(5) 資本金	4,503百万円	1,584百万円																								
(6) 設立年月日	1973年5月16日	1984年9月18日																								
(7) 発行済株式数	12,969,439株	9,680,000株																								
(8) 決算期	2月20日	2月20日																								
(9) 従業員数	382名(連結)	695名(連結)																								
(10) 主要取引先	豊島(株)、住金物産(株)、イオンリテール(株)、イオンモール(株)、その他	アイク(株)、イオンリテール(株)、タキヒヨー(株)、イオンモール(株)その他																								
(11) 主要取引銀行	株みずほコーポレート銀行	株三菱東京UFJ銀行																								
(12) 大株主および持株比率	イオン(株) 55.69% コックス社員持株会 4.06% コックス共栄会 3.06% マックスパリュ西日本(株) 2.70% イオンクレジットサービス(株) 2.31% (2009年8月20日現在)	イオン(株) 66.04% 岩間 郷平 4.99% 岩間 公一 2.21% (株)タナベスポーツ 1.67% ノーザントラストエイブイエフシーリ ノーザントラストガンジーノントリー ティアクライアーツ (常任代理人 香港上海銀行東京支店) 1.56% (2009年8月20日現在)																								
(13) 当事会社間の関係	<table border="1"> <tr> <td>資本関係</td> <td>2010年2月20日現在、コックスはブルーグラスの発行済株式総数の1.16%(110,000株)を保有しております。また、ブルーグラスはコックスの発行済株式総数の1.13%(150,000株)を保有しております。</td> </tr> <tr> <td>人的関係</td> <td>コックスの社外監査役1名が、ブルーグラスの常勤監査役を兼務しております。</td> </tr> <tr> <td>取引関係</td> <td>直接の取引関係はありません。</td> </tr> <tr> <td>関連当事者への該当状況</td> <td>イオン株式会社は、コックスおよびブルーグラスの主要株主であるため、関連当事者に該当します。</td> </tr> </table>		資本関係	2010年2月20日現在、コックスはブルーグラスの発行済株式総数の1.16%(110,000株)を保有しております。また、ブルーグラスはコックスの発行済株式総数の1.13%(150,000株)を保有しております。	人的関係	コックスの社外監査役1名が、ブルーグラスの常勤監査役を兼務しております。	取引関係	直接の取引関係はありません。	関連当事者への該当状況	イオン株式会社は、コックスおよびブルーグラスの主要株主であるため、関連当事者に該当します。																
資本関係	2010年2月20日現在、コックスはブルーグラスの発行済株式総数の1.16%(110,000株)を保有しております。また、ブルーグラスはコックスの発行済株式総数の1.13%(150,000株)を保有しております。																									
人的関係	コックスの社外監査役1名が、ブルーグラスの常勤監査役を兼務しております。																									
取引関係	直接の取引関係はありません。																									
関連当事者への該当状況	イオン株式会社は、コックスおよびブルーグラスの主要株主であるため、関連当事者に該当します。																									
(14) 最近3年間の経営成績および財政状態	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">決算期</th> <th colspan="3">コックス</th> <th colspan="3">ブルーグラス</th> </tr> <tr> <th>2008年 2月期</th> <th>2009年 2月期</th> <th>2010年 2月期</th> <th>2008年 2月期</th> <th>2009年 2月期</th> <th>2010年 2月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						決算期	コックス			ブルーグラス			2008年 2月期	2009年 2月期	2010年 2月期	2008年 2月期	2009年 2月期	2010年 2月期							
決算期	コックス			ブルーグラス																						
	2008年 2月期	2009年 2月期	2010年 2月期	2008年 2月期	2009年 2月期	2010年 2月期																				

純 資 産	11,526	9,413	8,838	11,101	9,707	8,192
総 資 産	16,962	14,123	11,856	16,125	14,230	12,098
1株当たり純資産(円)	963.10	786.63	738.83	1,170.18	1,022.76	862.94
売 上 高	20,823	20,714	17,838	29,612	25,570	20,676
営 業 利 益	584	△768	△316	626	△244	△1,119
経 常 利 益	742	△640	△210	737	△132	△1,032
当 期 純 利 益	3	△1,197	△549	213	△582	△1,487
1株当たり当期純利益 (円)	0.29	△100.07	△45.93	22.46	△61.39	△156.75
1株当たり配当金(円)	8.00	-	-	27.00	-	-

(単位：百万円。特記しているものを除く。)

(注) コックスおよびブルーグラスともに、2008年2月期および2009年2月期は単体の数値となっており、2010年2月期は連結の数値となっております。

#### 5. 本合併後の状況

	吸収合併存続会社
(1) 名 称	株式会社コックス
(2) 所 在 地	東京都江東区新大橋一丁目8番11号
(3) 代表者の役職・氏名	池内 清和
(4) 事 業 内 容	婦人服、紳士服、子供服ならびに関連商品および生活雑貨の小売販売
(5) 資 本 金	4,503百万円
(6) 決 算 期	2月20日
(7) 純 資 産	現時点では確定していません。
(8) 総 資 産	現時点では確定していません。

(注) 本日別途開示のとおり、池内清和は、本日開催のコックスの取締役会において、代表取締役に内定いたしました。2010年5月18日開催予定の第37期定時株主総会に付議される「取締役の選任の件」が承認されることを条件とし、同定時株主総会後の取締役会にて正式決定する予定であります。

#### 6. 会計処理の概要

企業結合に関する会計基準上、共通支配下の取引に該当いたしますので、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」第247項に基づき会計処理を実施いたします。このため、「のれん」は発生しない見込です。

#### 7. 今後の見通し

業績への影響額および合併後の見通しにつきましては、明らかになり次第お知らせいたします。

以 上